



あいちサイエンスフェスティバル 2016 実施報告書



目次

1. 概要	2
1-1. あいちサイエンスフェスティバルとは	2
1-2. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携	2
1-3. あいちサイエンスフェスティバル実行委員会	3
2. フェスティバル総括	5
2-1. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 総括	5
2-2. あいちサイエンスフェスティバル 2016 総括	5
2-3. 年間集計	6
2-4. 報道・広報	7
3. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 イベント報告	13
3-1. 特集 1：宇宙と星に触れる、夏休み！	13
3-2. 特集 2：化石大好き！古代の生物をみにいこう！	16
3-3. おすすめイベント	18
3-4. まだまだいっぱい	22
4. あいちサイエンスフェスティバル 2016 イベント報告	33
4-1. 特集 1「未来を拓くモノづくり 2016」	33
4-2. 特集 2「やっぱり大好き！宇宙の謎を探る！」	37
4-3. 名古屋大学 presents、注目企画	40
4-4. ASF サイエンストーク	41
4-5. 子どものためのサイエンスとものづくり 大イベント	45
4-6. まだまだいっぱい	46
4-7. あいちサイエンスフェスティバル 2016 クロージング企画	62
5. 謝辞	63

1. 概要

1-1. あいちサイエンスフェスティバルとは

あいちサイエンスフェスティバルは、愛知県全域および周辺地域で開催する地域科学祭です。この地域にサイエンスやものづくりを気軽に楽しむ文化を育むため、人々の交流と対話の場をつくりだすことを目的に実施しています。名古屋大学が主催し、愛知県および岐阜・三重県の、大学や社会教育施設等による「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携協力活動として運営しています。

2011年から毎年、10月を中心とした秋に約5週間のあいちサイエンスフェスティバルを開催してきました。昨年度からは新たに、夏休みにも子ども向けの「夏休みあいちサイエンスフェスティバル」を開催しています。

1-2. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携

2011～2013年度、独立行政法人科学技術振興機構（JST;現、国立研究開発法人科学技術振興機構）より、科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」支援を受け、愛知県内の大学・研究所・博物館・科学館等が連携し、「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」を形成しました。当初11機関からスタートしましたが、徐々に参加機関を増やしています。2016年2月に愛知学長懇話会が新規加入し、2017年1月現在、26機関が参加しています。

● あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関

名古屋大学、愛知県、豊橋技術科学大学、名古屋市立大学、名古屋市科学館、名古屋市東山総合公園（東山動植物園）、蒲郡市生命の海科学館、豊橋市自然史博物館、日本モンキーセンター、トヨタ産業技術記念館、愛知工科大学、名古屋文理大学、自然科学研究機構基礎生物学研究所、宇宙航空研究開発機構名古屋空港飛行研究拠点、三井住友銀行 SMBC パーク栄、愛知こどもの国、名古屋市鶴舞中央図書館、三重県総合博物館、大垣市文化事業団、名古屋工業大学、中部大学、科学技術交流財団、愛知教育大学、名古屋市港防災センター、サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）、愛知学長懇話会 以上、26機関（2017年1月現在）

ネットワークでは、あいちサイエンスフェスティバルを象徴イベントとしながら、年間を通じて、講師派遣やコンテンツ交流等の連携活動をおこなっています。また、ネットワーク機関のサイエンスイベントを集約して情報提供するホームページを毎年運用し、サイエンスイベント情報を掲載したメールマガジンを毎週読者に送信しています。さらに、フェイスブックとツイッターによるイベント情報発信もおこなっています。

- HP <https://aichi-science.jp>
- ツイッター <https://twitter.com/AichiScienceFes>
- フェイスブック <https://www.facebook.com/AichiScienceFestival2014>

1-3. あいちサイエンスフェスティバル実行委員会

● あいちサイエンスフェスティバル実行委員会名簿 (2017年1月現在)

参加機関名	実行委員の所属・役職等	実行委員の氏名
名古屋大学 (あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局)	学術研究・産学官連携推進本部長 同本部 地域連携・情報発信グループ グループリーダー 主任 URA (事務局担当) URA 研究員 事務補佐員	財満鎮明 藤野誠二 成玖美 戸次真一郎 梅村綾子 宇治原妃美子
愛知県	産業労働部産業科学技術課 主事 愛知県図書館 資料支援課広域グループ	江口志津香 石野友恵
豊橋技術科学大学	機械工学系 准教授	安部洋平
名古屋市立大学	看護学研究科 教授	明石恵子
名古屋市科学館	学芸課学芸係 主任学芸員	尾坂知江子
名古屋市東山総合公園	東山動物園 管理課 東山植物園 指導園芸係長	松本紗季 大橋淳子
蒲郡市生命の海科学館	館長	山中敦子
豊橋市自然史博物館	学芸専門員	長谷川道明
日本モンキーセンター	学術部研究教育室 室長	高野智
トヨタ産業技術記念館	学芸企画グループ グループリーダー	木村雅人
宇宙航空研究開発機構 名古屋 空港飛行研究拠点	名古屋大学総長補佐/ナショナルコンポジットセンター特任教授	石川隆司
愛知工科大学	工学部情報メディア学科 准教授	杉森順子
自然科学研究機構基礎生物学研究所	広報室 特任助教	倉田智子
名古屋文理大学	基礎教育センター長/教授	落合洋文
三井住友銀行 SMBC パーク栄	イベント担当 ((株)大広)	松井成之
愛知こどもの国	副所長 運営チーム	鈴木貴久 古崎康夫
名古屋市鶴舞中央図書館	奉仕課 司書	齋藤森都
三重県総合博物館	経営企画課 学芸員	中村千恵
大垣市文化事業団	事業課科学展示係 専門指導員	小藪範雄
名古屋工業大学	産学官連携センター 准教授	矢野卓真
中部大学	研究推進事務局研究支援課 担当課長	河地利彦
科学技術交流財団	総務部総務課 係長	秋田浩介
愛知教育大学	科学・ものづくり教育推進センター 教授	児玉康一
名古屋市港防災センター	センター長	大場玲子
サイエンスワールド(岐阜県先端科学 技術体験センター)	利用促進課	和田沙欧里
愛知学長懇話会	事務局 (名古屋大学総務部総務課 課長補佐)	山田朋子

- 2016 年度 実行委員会開催日

第 1 回 2016 年 6 月 3 日 (金) 15 : 30~17 : 00

於 : 愛知県産業労働センター ウィンクあいち

あいち国際ビジネス支援センター セミナールーム 1

第 2 回 2017 年 3 月 1 日 (水) 15 : 30~17 : 00 (予定)

於 : 愛知県産業労働センター ウィンクあいち

あいち国際ビジネス支援センター セミナールーム 1

2. フェスティバル総括

2-1. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 総括

昨年に続き今年も、主に子どもを対象とした「夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016」を開催しました。今年は会期を、夏休み最終日まで延長し、夏休みを丸ごとフェスティバル期間と位置付けました。サイエンスとものづくりを楽しむ子どもの裾野を広げるとともに、理系の学習や研究を志す子どもや若者の関心に応え、次代を担う人材育成の一助とすることを目的としています。

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 は、以下のとおり開催されました。

- 会期：2016年7月23日（土）～8月31日（水）、およびプレ企画開催日
- 主催：名古屋大学
- 共催：愛知県
- 協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
- 後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、蒲郡市教育委員会、豊橋市教育委員会、国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学博物館協議会、

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 に参加いただいた、参加者／企画参加団体／イベント数は、以下のとおりです。

- 参加者総数： **249,060人**
うち、単発（開催期間3日間以内）イベント：10,810人
長期（開催期間4日間以上）イベント：238,250人
- 企画参加団体数： **20**
- イベント数： **69**

2-2. あいちサイエンスフェスティバル 2016 総括

秋には、子どもからおとなまで、広く対象にした、恒例のあいちサイエンスフェスティバル 2016 を開催しました。この地域にサイエンスやものづくりを気軽に楽しむ文化を育むため、人々の交流と対話の場をつくりだすことを目的としています。

あいちサイエンスフェスティバル 2016 は、以下のとおり開催されました。

- 会期：2016年9月24日（土）～11月3日（祝）、およびプレ企画／ポスト企画開催日
- 主催：名古屋大学
- 共催：愛知県、蒲郡市教育委員会

- 協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
- 後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、豊橋市教育委員会、国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学博物館協議会

あいちサイエンスフェスティバル 2016 に参加いただいた、参加者／企画参加団体／イベント数は、以下のとおりです。

- 参加者総数：**85,097 人**（集計不能イベントを除く）
 - うち、単発（開催期間 3 日間以内） イベント：17,848 人
 - 長期（開催期間 4 日間以上） イベント：67,249 人
- 企画参加団体数：**26**（ネットワーク参加機関からの講師派遣を含む）
- イベント数：**94**

2-3. 年間集計

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016、および、あいちサイエンスフェスティバル 2016 の参加者数とイベント数の合計は、以下のとおりです。

- 参加者総数：**334,157 人**（集計不能イベントを除く）
- イベント数：**163**

2-4. 報道・広報

「夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016」および「あいちサイエンスフェスティバル 2016」開催について、以下のとおり広報をおこない、報道されました。（ネットワーク機関の個別イベントの広報・報道は、含んでいません。）

日	媒体	内容
6月22日（水）		「名古屋大学 教育記者会との定例懇談会」にて、夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 告知
6月22日（水）	愛知県 HP	夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 開催告知と一部企画紹介（調整：愛知県産業労働部）
6月30日（木）	愛知県 HP 「ワクワクあいち」	夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 開催告知（調整：愛知県産業労働部）
7月27日（水）		「名古屋大学 教育記者会との定例懇談会」にて、あいちサイエンスフェスティバル 2016 告知
9月2日（金）	愛知県 HP	あいちサイエンスフェスティバル 2016 開催告知と一部企画紹介（調整：愛知県産業労働部）
10月1日（土） ～31日（月）	愛知県内イオン 各店	ポスター掲示（調整：愛知県産業労働部）
11月4日（金） ～6日（日）	JST 「サイエンスアゴラ 2016」	・トークセッション「サイエンスフェスティバルの担い手たちをつなぐ対話集会」にて紹介。 ・名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部ブースにて紹介。



● 広報物

「夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016」のポスター兼イベントガイドは、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局にて作製しました。

「あいちサイエンスフェスティバル 2016」のポスターとイベントガイドの表面は、松場宏忠氏（MTB DESIGN）に作製いただきました。（イベントガイド裏面は、事務局で作製しました。）

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016

7/23～8/31

詳しくは WEBで!! <https://aichi-science.jp/>

お問い合わせ: 名古屋大学 学術研究・産学連携推進本部
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局
電話 052-747-6527 asf@aip.nagoya-u.ac.jp

特集1: 宇宙と星に触れる、夏休み!

7/16 事前申込・抽選制、6/25(土)16時
市民観望会「土星と月をみる会」
プラネタリアムでの観望と、80km 大望遠鏡「星の9の9」に設置した望遠鏡で、見ごころの天体をご観望いただけます。
●対象: 子ども～おとな(中学生以下は保護者同伴)
●定員: 各回とも250名
●参加費: 高校生以上1,700円、中学生以下300円

8/13 事前申込・抽選制、申込期間7/11(日)7:23～11
市民観望会「土星をみる会」
●会場: 名古屋市科学館
●問合せ: 名古屋市科学館 電話 052-201-4486

7/16, 8/28 申込不要
夏休み企画展「宇宙を探検! ドナルド・グレン」
「宇宙を探検! ドナルド・グレン」
最近のインターネットやスマートフォンでイメージした美しい道具にちなみ、宇宙探検隊から宇宙とアートの世界を共有します。
●対象: 子ども～おとな
●会場: 大塚市立アートセンターアートギャラリー
●参加費: 本学関係者、小学生100円、一般300円
●問合せ: 大塚市文化事業部 電話 0584-82-2310

7/17 事前申込制・先着順
星のソムリエ®(星空案内人)による「宇宙を楽しむ方」
～星の距離に、星・宇宙の楽しみ方～
星や宇宙の話題をやさしく生解説、クイズや実演を絡めたくなります。
●対象: 子ども～おとな、定員150名
●会場: 大塚市立アートセンターアートギャラリー
●参加費: 500円(本学関係者および上記資料料)
●問合せ: 大塚市文化事業部 電話 0584-82-2310

7/24 事前申込制・先着順、7/9(日)16時
ディスカバーチャンネル科学実験室「コスミックカレッジ」～2016
ディスカバーチャンネルの番組制作と、JISX 講師による実験や解説、さらに実際に科学実験を親子で体験できます。
●対象: 小学生3～6年生の子どまと保護者
●会場: 名古屋大学 豊田講堂
●参加費: 無料
●問合せ: 名古屋大学学術研究・産学連携推進本部 電話 052-747-6791

8/6 事前申込制、先着順、7/23(土)16時
ひらめき☆ときめきサイエンス「ラックホール」のぞいた世界: 時間と空間が曲がる?
「ラックホール」のぞいた世界、ブラックホール、重力の最先端を紹介します。天文学がはじけだして以来、最先端の話題も盛り込まれます。
●対象: 高校生、定員30名
●会場: 愛知教育大学
●参加費: 無料
●問合せ: 愛知教育大学 電話 0566-26-2119

8/6・8/7 事前申込制、先着順
星空キャンプ
親子で1泊2日のキャンプを体験します。雨や天候は関係なく、天の川や星を眺めながら、科学的な知識を身につけていただきます。
●対象: 親子、10組(1家族5名まで)
●会場: 豊田県立大学 豊田講堂
●参加費: 1組3,500円(資料料300円/組とキャンプ費用別、別途)
●問合せ: 愛知こども館 電話 0563-42-4131

8/21 事前申込・抽選制、7/11(日)16時
第26回英国科学実験講座「クリスマスレクチャー2016 ～宇宙にいかにか生き抜くか～」
英国で150年以上続く「クリスマスレクチャー」が日本で開催! 人類が宇宙で生き残るために、いかに科学、技術、医療の力を結集してきたかを紹介します。
●対象: 子ども～おとな
●会場: 名古屋大学 豊田講堂
●参加費: 無料
●問合せ: 名古屋大学学術研究・産学連携推進本部 電話 052-747-6791

8/9・8/16/8/23 当日先着順
ワークショップ「石っこ星人をつくらう!」
想像、想像はかきでできる! 地球の石を眺めればかきで石っこ星人をつくらう!
●参加費: 無料
●会場: 豊都市生命の海洋科学館
●問合せ: 豊都市生命の海洋科学館 電話 0533-66-1717

特集2: 化石大好き! 古代の生物をみにいこう!

7/2・9/4 申込不要
企画展「大変動の地～三重の三億年～ 変動に生きた巨大生物たち」
古代の巨大生物たちが、この夏 MieMu に大集結! 様々な化石や標本、また大塚市や巨大火山活動の現場から、三億年の歴史を体験できます。
●対象: 子ども～おとな
●入場料: 一般600円、学生480円、高校生以下半額
●問合せ: 三重県総合博物館(MieMu) 電話 059-228-2283

7/23・8/27 会場: 三重県総合博物館(MieMu)
館長と語る三葉虫のひみつ
三葉虫の化石や標本をスクリーン、最新の出土している期間にのみ、その秘密を探ります。
●対象: 小学生以上、各回定員20名
●参加費: 無料
●問合せ: 三重県総合博物館(MieMu) 電話 059-228-2283

7/15・10/10 特別企画展「メカゴジ娘 in 豊橋」
●対象: 子ども～おとな
●入場料: 大人600円、小学生200円
●問合せ: 豊橋市自然史博物館 電話 0532-41-4747

7/24 特別企画展 記念講演会「電線網 巨大化の謎」
●一般(小学生以上): 60名
●事前申込制、先着順、参加費無料

8/28 特別企画展 記念講演会「耐電線の板と鉄の謎」
●一般(小学生以上): 60名
●事前申込制、先着順、参加費無料

8/6・8/7 事前申込制、7/9(日)16時
ひらめき☆ときめきサイエンス「地球と化石を調べてみよう!」
～大地のなりたちを野外調査から探る～
夏休み、愛知教育大学の大学生や先生と一緒に1800万年前の地層を野外調査してみよう。新発見があるよ! さつと楽しみよう!
●対象: 小学生3～6年生(小学生は保護者同伴)
●定員: 8組(8名、8組に2名)
●会場: 愛知教育大学 豊田講堂
●参加費: 無料
●問合せ: 愛知教育大学 電話 0566-26-2119

8/26 当日先着順、参加費100円
ワークショップ「化石発掘にチャレンジ!」
化石は地球の歴史を教える。大発見から、そのメモリアの化石の発掘にチャレンジしよう!
●対象: 小学生3～6年生、定員20名
●会場: 豊都市生命の海洋科学館
●参加費: 無料
●問合せ: 豊都市生命の海洋科学館 電話 0533-66-1717

うらなもみてね!

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 ポスター兼イベントガイド 裏面



7/23~8/31

あいちサイエンスフェスティバル 2016

詳しくは WEB で!!

<https://aichi-science.jp/>

新しいイベント情報も追加されています!

日	時間	会場	内容	申込	備考
7/19 (土)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/19 (土)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/19 (土)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/20 (日)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/20 (日)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/20 (日)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/21 (月)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/21 (月)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/21 (月)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/22 (火)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/22 (火)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/22 (火)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/23 (水)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/23 (水)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/23 (水)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/24 (木)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/24 (木)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/24 (木)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/25 (金)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/25 (金)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/25 (金)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/26 (土)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/26 (土)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/26 (土)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/27 (日)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/27 (日)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/27 (日)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/28 (月)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/28 (月)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/28 (月)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/29 (火)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/29 (火)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/29 (火)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/30 (水)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/30 (水)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/30 (水)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会
7/31 (木)	10:00-12:00	名志野高等学校	【化学】 名志野高等学校 化学部 化学実験大会	申込不要	化学実験大会
7/31 (木)	14:00-15:00	名志野高等学校	【物理】 名志野高等学校 物理部 物理実験大会	申込不要	物理実験大会
7/31 (木)	16:00-17:00	名志野高等学校	【生物】 名志野高等学校 生物部 生物実験大会	申込不要	生物実験大会

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク



あいちサイエンスフェスティバルとは

あいちサイエンスフェスティバルは、愛知県全域および周辺地域で開催する地域科学祭です。名古屋大学が主催し、愛知県および岐阜・三重県の大学や社会教育施設等の連携による「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携協力活動として運営しています。この地域にサイエンスものづくりを気軽に楽しむ文化を育むため、人々の交流と対話の場をつくりだすことを目的に、2011年から毎年開催してきました。2015年から主に子どもを対象とした「夏休みあいちサイエンスフェスティバル」を開催しています。サイエンスものづくりを楽しむ子どもたちの夢をかなげるとともに、専攻の学習や研究を志す子どもたちの夢をかなげるとともに、次世代を担う人材育成の一助とすることを目的としています。HPでは、年毎を通じてあいちサイエンスフェスティバルの情報を掲載しています。メールマガジンSMSでも随時掲載しています。ぜひご利用ください。

※予告 秋にもサイエンスフェスティバルを開催します!! (9/24~11/3)

主催：国立大学法人名古屋大学 共催：愛知県 協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
 後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋大学、名古屋大学教育委員会、名古屋大学学術院、名古屋大学学術院、名古屋大学学術院、名古屋大学学術院、名古屋大学学術院

3. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2016 イベント報告

3-1. 特集 1：宇宙と星に触れる、夏休み！

子どもたちは宇宙が大好きですね。今年は名古屋大学で宇宙に関連した大きな共催イベントが2つ開催されたこともあり、「宇宙」に関連したイベントで特集を組みました。

市民観望会「土星と月をみる会」

日時	7/16(土) 18:45～21:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館
主催	名古屋市科学館

プラネタリウムの講座と80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、土星と月を観望しました。



夏休み企画展「宇宙を探検！段ボールアート遊園地」

日時	7/16(土)～8/28(日)9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	大垣市スイトピアセンター アートギャラリー
主催	大垣市文化事業団

夏休み恒例の親子で楽しめるアートギャラリーの体験型展覧会。今年は、UFO すべり台やダンボールプラネタリウムなど、宇宙をテーマにダンボールアート遊園地を開催しました。来場者からも好評で、アートとあわせて、宇宙や天文についての興味・関心を高める機会となりました。



星のソムリエ®（星空案内人）によるプラネタリウム生解説～夏の星座と、星・宇宙の楽しみ方～

日時	7/17(日)16:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	大垣市スイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団

好評につき第3回目を迎えた星のソムリエ®による生解説。夏の星座や星、宇宙について、映像を交えた分かりやすい生解説で、子どもから大人まで、楽しみながら学ぶことができました。



ディスカバリーチャンネル科学実験室～コズミックカレッジ～2016

日時	7/24(日)10:00～12:00
対象	小学校 3～6 年生の子どもと保護者
会場	名古屋大学豊田講堂
主催	ディスカバリー・ジャパン(株)、JAXA
共催	名古屋大学

“もうひとつの地球”を目指すという設定で子ども達が様々な実験やクイズを交えたミッションに挑戦。宇宙環境やロケットの推進方法や航法の他、最新の望遠鏡の仕組みや月面探査車などをテーマにしたミッションに挑戦し、チャレンジごとに興味に満ちた歓声が上がりました。ブース出展もあり、終了後も会場で宇宙に関する体験を楽しんでいました。宇宙環境や宇宙に挑戦する技術を学び・体験する良い機会になりました。



ひらめき☆ときめきサイエンス「ブラックホールの歪んだ世界：時間と空間が曲がる？」

日時	8/6(土) 9:30～17:30
対象	高校生
会場	愛知教育大学
主催	愛知教育大学、日本学術振興会

ブラックホールの基礎知識や最先端の研究について、中・高生にもわかりやすく、身近な物理現象を例に挙げて解説がされました。講義の合間には、自然科学棟の屋上で望遠鏡を使用して太陽の黒点観察も行われました。



星空キャンプ

日時	8/6(土)～8/7(日)
対象	親子
会場	愛知こどもの国 あさひが丘
主催	愛知こどもの国

20cm 反射望遠鏡や対空大型双眼鏡など機材も豊富にそろえました。雲が少しありましたが、月、火星、木星、土星を観測することができました。星座解説も好評で、天体観測に興味のある親子にとって、貴重な体験になりました。



ワークショップ「石っこ星人をつくらう！」

日時	8/9(火)・16(火)・23(火)①14:00～、②14:30～
----	-----------------------------------

対象	子ども
----	-----

会場	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

主催	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

参加者は岩石にさわり、じっくりと観察して、沢山の発見をしました。その後、岩石に目と飾りをつけて、オリジナルキャラクターを作りました。普段何気なく見ている石が、大好きになるワークショップでした。



第 26 回英国科学実験講座「クリスマスレクチャー2016～宇宙でいかに生き抜くか」

日時	8/21(日)①10:30～12:00、②14:00～15:30
----	----------------------------------

対象	子ども～おとな
----	---------

会場	名古屋大学豊田講堂
----	-----------

主催	読売新聞社
----	-------

共催	名古屋大学
----	-------

英国で 1825 年から行われている歴史あるサイエンスイベント「クリスマスレクチャー」の日本公演が豊田講堂で開催されました。航空宇宙医師のケビン・フォンさんをメインゲストに迎え、「宇宙でいかに生き抜くか」と題し、実験講座を開催しました。講座では参加者からボランティアを募りながら、宇宙に関わる様々な実験を行いました。大学や企業のブース出展もあり、子どもたちが宇宙を体感できる貴重な機会になったようです。



市民観望会「土星をみる会」

日時	8/13(土)18:45～21:00
----	--------------------

対象	子ども～おとな
----	---------

会場	名古屋市科学館
----	---------

主催	名古屋市科学館
----	---------

プラネタリウムの講座と 80cm 大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、土星を観望しました。



3-2. 特集 2：化石大好き！古代の生物をみにいこう！

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークは、自然史に強いのも特徴です。子どもの大好きな化石に関連するイベントも、特集 2 に集まりました。

企画展「大変動の地～三重の三億年・変動に生きた巨大生物たち～」

日時	7/2(土)～9/4(日)9:00～17:00 *土日祝は 9:00～19:00
対象	子ども～おとな
会場	三重県総合博物館 (MieMu)
主催	三重県総合博物館 (MieMu)

恐竜など古代の巨大生物のほか、三重県内で見つかった岩石・鉱物から巨大火山の活動や、かつて三重で起こった地殻変動の歴史についても、大人も子どもも楽しみながら学んでいただくことができました。



特別企画展「メガ恐竜展 in 豊橋」

日時	7/15(金)～10/10(祝)9:00～16:30
対象	子ども～おとな
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

スペインで発見されたヨーロッパ最大の恐竜トゥリアサウルスをはじめ、50 点の標本を展示し、恐竜巨大化の謎を紹介しました。



館長と調べる三葉虫のひみつ

日時	7/23(土)・8/27(土)13:30～15:30
対象	小学生以上
会場	三重県総合博物館(MieMu)
主催	三重県総合博物館(MieMu)

三葉虫の本物をスケッチし、大野館長が出すいじわるの質問にみんなで力を合わせて、答えを確かめていく体験型講座です。子どもも大人もじっくりと本物に向き合い、観察する力を磨くことができました。



特別企画展記念講演会「竜脚類 巨大化の謎」

日時	7/24(日)14:00~15:00
対象	一般（小3以上）
会場	豊橋市自然史博物館
講師	関谷透（福井県立恐竜博物館研究員）
主催	豊橋市自然史博物館

竜脚類恐竜がどのように巨大化したのか、体にはどのような仕組みがあるのか。進化の歴史をたどりながら、その秘密を探りました。



ひらめき☆ときめきサイエンス「地層と化石を調べてみよう！ - 大地のなりたちを野外調査から探る」

日時	8/6(土)・7(日) 9:00~17:30
対象	小学5・6年生および中学生
会場	愛知教育大学、調査観察：岐阜県瑞浪市
主催	愛知教育大学、日本学術振興会

地層観察用の粒度版を作成し、それを用いて地層を観察しました。また、みずから岩石ハンマーを振り下ろして化石採取を楽しみました。観察と体験をとおし、大地のなりたちについて学びました。



ワークショップ「化石発掘にチャレンジ！」

日時	8/26(金)14:00~15:00
対象	小学校高学年以上
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

化石は地球のたからもの。タガネと金づちで石の中から化石を発掘したこどもたちが、口々に歓声を上げていました。



特別企画展記念講演会「剣竜類の板と棘の謎」

日時	8/28(日)14:00~15:00
対象	一般（小学3年生以上）
会場	豊橋市自然史博物館
講師	林昭次（大阪市立自然史博物館学芸員）
主催	豊橋市自然史博物館

ジュラ紀の植物食恐竜、剣竜類がもつ巨大な背の板や尾の棘の機能の進化について、最新の研究を紹介しました。



3-3. おすすめイベント

特集イベント以外の、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク各機関のおすすめイベントです。

夏休み♪みんなで楽しくまなぼうさい～自由研究ネタになるかも～

日時	7/23(土)・24(日)9:30～16:30
対象	小学生・ファミリー
会場	名古屋市港防災センター
主催	名古屋市港防災センター

「スライム DE 地震」、自然写真家の宮武健仁氏の「生きている火山」展、元消防官・防災教育アドバイザーの「子ども防災相談コーナー」、「ぼうさい教室（紙食器・新聞スリッパ）」などを2日間開催しました。



日本モンキーセンター ワイルドサマーキャンプ 2016

日時	7/26(火)・27(水)
対象	小学4年生～中学3年生
会場	日本モンキーセンター
主催	日本モンキーセンター

研究者のフィールドワークを模した1泊2日のキャンプを開催しました。24名の小学生が自分たちでテントを張り、食事を作りながら、霊長類の行動観察やエンリッチメントグッズを作るワークショップをおこないました。



サイエンスフェア 2016

日時	7/30(土)・31(日)10:00～16:00
対象	子ども～おとな
会場	サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)
主催	サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)

館内全体を利用した科学実験・工作イベントで、多くの出展者が物理・化学・生物・地学といった様々な分野からブースを展開しました。多様な内容があり、来館者の視野を広げるとともにニーズへの対応が出来たようで、どのブースもたいへん盛況でした。



蝶の美しさのひみつ

日時	8/1(月)13:30～
対象	中学生～一般
会場	中部大学 不言実行館アクティブホール
主催	中部大学

名和昆虫博物館館長の名和哲夫氏をはじめ講演者達が、多数の蝶の写真スライドを見せながら蝶の魅力や紋様の変遷、蝶から学ぶ自然の面白さなどを語り、聴衆は興味深く聞き入っていました。蝶の標本展示も好評でした。

**第1回サイエンス実践塾**

日時	8/3(水)13:30～17:00
対象	中学生・高校生
会場	あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター
主催	愛知県

プリマハム（株）スタッフによる出前授業を実施し、食物アレルギーについて実験を通して学びました。また、センターに設置されている機器の見学も行きました。参加者からは「アレルギーについての理解が深まった」との声がありました。

**名工大テクノチャレンジ**

日時	8/3(水)～8/5(金)9:00～16:30
対象	小学生～高校生
会場	名古屋工業大学
主催	名古屋工業大学

大学内の施設・設備で、日常では体験できない「つくることや、はかることの面白さ」、「実験やプログラミングを行うことの楽しさ」を体験し、工学技術に親しんでもらうことができました。

**炭のはたらきすみずみまで～夢のカーボン材料の魅力～**

日時	8/5(金)13:30～15:00
対象	小学3年生～中学生
会場	名古屋市鶴舞中央図書館
講師	三浦亜季（名古屋大学 JST-ERATO 伊丹分子ナノカーボンプロジェクト研究推進主任）
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

グループに分かれて、炭の消臭や電気を通す性質について実験し、炭の構造や化学的な性質を考えてもらいました。名古屋大学が夢のカーボン材料を研究中であることには、特に興味・関心を見出していた様子で活発に質問が飛び交いました。



第2回サイエンス実践塾

日時	8/9(火)13:30~17:00
対象	中学生・高校生
会場	あいち産業科学技術総合センター 産業支援センター
主催	愛知県

ルミノール発光をはじめ4つのテーマに分かれて科学実験体験を行いました。また、センターに設置されている機器の見学も行いました。参加者からは「とても楽しく、将来研究者になりたい」との声がありました。



ちりめんじゃこから海の生き物をさがそう

日時	8/20(土)10:00~16:00
対象	子ども~おとな
会場	愛知県下水道科学館
主催	名古屋文理大学

未選別のちりめんじゃこの中から混入している色々な海洋生物を探し出し、分類、多様性、生態系等について学んでもらいました。参加者からは、「宝探しのごとく楽しかった」などといった感想をいただきました。



ひらめき☆ときめきサイエンス「病気から体をまもる研究を丸ごと体験してみよう！！」

日時	8/23(火) 9:20~16:15
対象	高校生
会場	名古屋市立大学 桜山キャンパス
主催	名古屋市立大学、日本学術振興会

名古屋市立大学では、平成28年8月23日(火)にひらめき☆ときめきサイエンス「病気から体をまもる研究を丸ごと体験してみよう！！」を開催しました。高校生25名に参加いただき、一連の研究過程を体験することで、研究のおもしろさを知ってもらうよい機会となりました。



キッズ ボタニカル・ラボ

日時	8/27(土) 13:00~16:30
対象	小学 3~6 年生
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館
講師	瀬上紹嗣(名古屋大学生命農学研究科特任助教)
主催	名古屋市東山動植物園
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、名古屋大学大学院生命農学研究科細胞ダイナミクス研究室



大学の研究者と一緒に実験ができるイベントを開催しました。植物のチカラ「光合成」について、実験を通して学んでいただきました。仮説を立て、実験をするといった科学的な手順も体験していただきました。

3-4. まだまだいっぱい

まだまだたくさん、紹介します。

・会期が3日間以下のイベント

科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験教室 「食品作りには化学が大活躍！～缶詰ミカンを作ろう！」

日時	7/9(土)10:00～12:00
対象	中学生
会場	名古屋市科学館 第1実験室
主催	名古屋市科学館

愛知教育大学戸谷義明研究室のメンバーの指導により、「食品作りには化学が大活躍！～缶詰ミカンを作ろう！～」をテーマに、中学生が夏ミカンにクエン酸を使って実だけを取り出す実験しました。



中部大学民族資料博物館夏季企画展 ギャラリートーク

日時	7/12(火)13:00～
対象	一般
会場	中部大学民族資料館展示室
講師	西山伸一（中部大学人文学部准教授）
主催	中部大学

展示のうちシリア地域を企画担当した西山伸一准教授が現地での考古学調査の様子について古代オリエント博物館蔵の写真パネルやシリア遺物をもとに解説しました。農耕発祥の古代文明を継承する文化に触れる有意義な時間となりました。



ワークショップ「海の化石・岩塩～結晶のふしぎ～」

日時	7/16(土)14:00～15:00
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

顕微鏡で岩塩やその中の気泡を観察しました。岩塩がへき開面に沿って割れることの体験では、大人も子供も結晶をきれいに割って立方体を作る作業に熱中し、楽しんでいました。



サイエンストーク「研究者らが魅せる、海と結晶のコレクション！」

日時	7/18(祝) 14:00～15:30
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館
講師	梅村綾子(名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部)
主催	蒲郡市生命の海科学館

名古屋大学の3人の研究者が行っている、さまざまな研究のご紹介でした。講師の梅村先生の軽快で楽しそうなお話しぶりと、魅力的な研究の数々に、引き込まれた90分でした



未来の博士を育てる科学教室「石灰を使ってバズーカ砲やロケットを飛ばそう！」

日時	7/21(木)10:00～12:00
対象	小・中学生
会場	大垣市スイピアセンター 学習館 5階
講師	矢橋工業株式会社 担当者
主催	大垣市文化事業団

金生山の石灰について分かり易く説明し、また、実験や観察をしながら楽しく活動できました。二酸化炭素の吸着剤「ヤバシライム」を活用しながら、発熱や加圧作用を体感しました。圧縮した空気砲（バズーカ砲）は迫力満点でした。



電子工作教室(ジュニアコース)「フルカラーLEDで色をまなぼう」

日時	7/22(金)10:00～12:00
対象	小学5・6年生
会場	名古屋市科学館 生命館 6階 第2実験室
主催	名古屋市科学館

光の3原色 赤・青・緑が一体となったLEDのハンダ付け工作を楽しみながら光の色の仕組みを学びました。



サイエンスショー「身近な科学 No.4 夏休みだ！集まれ！豆科学者！」

日時	7/23(土)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	小学生以下
会場	蒲郡市生命の海科学館
講師	沓名健次(光ヶ丘女子高等学校講師)
主催	蒲郡市生命の海科学館

「夏休みにこそ、身の回りの不思議のひみつを探ろう！どこの家にもある液体や粉の不思議を解き明かそう！」身近なものが違って見えてくる、フシギー杯のサイエンスショーに、参加者一同拍手喝采でした。



電子工作教室(親子コース)「オルゴールごまをつくろう」

日時	7/23(土)・24(日)10:00~12:00
対象	小学 3・4 年生と保護者
会場	名古屋市科学館 生命館 6 階 第 2 実験室
主催	名古屋市科学館

コマを回すと LED が光の輪となり、音楽が流れるオルゴールごまを製作しました。



かがくあそび④みどぼんロケットを飛ばそう

日時	7/23 (土)・24(日)制作・発射 13:30~15:30
対象	親子 (幼児~)
会場	愛知こどもの国 多目的ホール/中央広場
主催	愛知こどもの国

ロケットの製作には炭酸系のペットボトル 2 本を加工し、ビニルテープだけで簡単に作れるようにしました。ボトル内の水と空気の量を変えながら何度もロケットを飛ばしました。水にぬれて、暑さも忘れるほど歓声があがりました。



地球環境問題映画会第 23 回「生きている地球の記録」

日時	7/24(日)10:00~16:40
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市科学館 サイエンスホール
主催	三菱 UFJ 環境財団、名古屋市科学館、中日新聞社、グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会

(公財)三菱 UFJ 環境財団等と共催して、2016 年グリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品の「新地町の漁師たち」「魚道ー長良川河口堰運用から 20 年」など 6 本を上映しました。鎌倉英也監督ミニトークも開催しました。



未来の博士を育てる科学教室「風力発電で車を走らせよう」

日時	7/27(水) 10:00~11:30
対象	小・中学生
会場	大垣市サイトピアセンター 学習館 5 階
講師	太平洋工業株式会社 担当者
主催	大垣市文化事業団

発電のしくみや方法について学びながら、環境に配慮した風力を利用した発電について実験しました。ペットボトルで羽をつかって風車を回し、それにより蓄電池に電気をため、ミニカーを走らせたりしました。レース形式で大変盛り上がりました。



第 1 回知的財産経営サロン～異業種交流会

日時	7/28(木) 18:00～20:00
対象	中小企業の経営者など
会場	名古屋商工会議所 2階名商グリル
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部

知的財産を産業競争力の源泉と位置付け、経営戦略に組み込む「知財経営」の推進を図るため、中小企業の経営者等を対象とした「知的財産経営サロン」を日本弁理士会東海支部と共催で開催しました。

**外来魚調査隊**

日時	7/28(木)9:30～12:30
対象	子ども～おとな
会場	豊橋市向山大池
主催	豊橋市自然史博物館

豊橋市内のため池で外来魚の採集調査を行い、見分け方や生息状況、問題点について学びました。

**未来の博士を育てる科学教室「おもしろ印刷実験パッチン LED」**

日時	7/29(金)10:00～11:30
対象	小・中学生
会場	大垣市サイトピアセンター 学習館 5階
講師	サンメッセ株式会社 担当者
主催	大垣市文化事業団

電導性のある特殊印刷された型紙を使用して、いろいろな道筋に電気を流し、直流回路をつくりながら、LED電灯を点灯させてみました。電気がつくように条件を変えていくことができ、試行錯誤しながら多くを学びました。

**科学館夏まつり 2016**

日時	7/30(土) 10:00～16:00
対象	小学生以下
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

沢山のワークショップが開催され、大変盛況な一日でした。フィナーレを飾った「にこりず」のチアダンスでは、みんなで「アノマロたいそう」を踊り、賑やかで華やかな一日となりました。



植物の不思議を知ろう「つる植物の生きる力」

日時	7/31(日)14:00～15:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
主催	名古屋市東山動植物園

植物園職員と一緒に、いろいろな種類の植物のつるを観察しました。付着型、まきひげ型、吸盤型といったそれぞれの違いを見て感じていただきました。

**中部大学民族資料博物館夏季企画展ギャラリートーク**

日時	8/2(火)13:00～
対象	一般
会場	中部大学民族資料博物館展示室
講師	中野智章（中部大学国際関係学部教授）
主催	中部大学

展示のうちエジプト地域を企画担当した中野智章教授が現地での考古学調査の様子について調査記録や古代オリエント博物館蔵のエジプト遺物をもとに解説。熱砂の厳しい自然環境のなかで各国の研究者と協力した活動を紹介しました。

**ものづくり体験フェア「チャレンジ！金属加工」**

日時	8/2(火)・3(水)10:00～12:00
対象	中学生
会場	名古屋市科学館 理工館 3 階「創造のひろば」
主催	名古屋市科学館

棒状の材料をネジにしてツマミを付けたり、長方形の材料を面取りや磨きで形を整えるなど、色々な金属加工を体験し、文鎮を作る体験をしました。

**未来の博士を育てる科学教室「荷物の運ばんの工夫と配送システムを知ろう！」**

日時	8/3(水) 13:00～16:30
対象	小・中学生
会場	西濃運輸大垣支店、セイノー情報サービス
講師	西濃運輸(株)/(株)セイノー情報サービス 担当者
主催	大垣市文化事業団

運送用トラックを見学して、迅速かつ丁寧そして安全性に配慮して用途に合った荷台や運転席の工夫があることを知りました。配送システムでは、実際に指定された商品をバーコードリーダーを使って集める体験ができました。



チリモン探し体験

日時	8/3(水)14:00～15:00
対象	小学3年生以上
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

シラスに混じって漁獲された小さな生物を観察しました。



未来の博士を育てる科学教室「ひみつをさがろう～びん工場とキャンディ工場見学」

日時	8/5(金)13:00～16:30
対象	小・中学生
会場	日本耐酸壘工場(株)／鈴木栄光堂工場
講師	日本耐酸壘工場(株)／鈴木栄光堂工場 担当者
主催	大垣市文化事業団

キャンディー工場の見学では水あめから包装までの工程がよく分かりました。また一人一人にインカムを導入してもらいました。びん工場では最新鋭の高速製造機を見学し、モノづくり日本の最先端技術を知ることができました。



第19回リフレッシュ理科教室「LEDで楽しい工作！Part2！」

日時	8/6(土)①10:15～、②13:00～、③15:00～
対象	小学3年～中学生
会場	名古屋市科学館
主催	応用物理学会、名古屋市科学館

(公社)応用物理学会と共催で、小学3年生～中学生が、「ゆらして発電☆ふみきりシグナル」、「蛍光導波路☆ルミネサーベル」、「振って光る☆LEDドラム」を製作しました。



学会員ミュージアム・トーク「ダンゴムシのふしぎ」

日時	8/6(土) 14:30～15:00
対象	子ども～おとな
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

交替性転向反応などダンゴムシの生態、行動や体のつくりなどを観察しました。



石で自由研究

日時	8/7(日)14:00～15:00
----	-------------------

対象	小学3年生以上
----	---------

会場	豊橋市自然史博物館
----	-----------

主催	豊橋市自然史博物館
----	-----------

山、河原、海岸で見られる石や砂をテーマとした自由研究のまとめ方を紹介しました。

**ひらめき☆ときめきサイエンス「のぞいてみよう！プラズマと生物と医療の不思議の世界」**

日時	8/10(水)10:10～17:00
----	--------------------

対象	中学生～高校生
----	---------

会場	名古屋大学 東山キャンパス
----	---------------

主催	名古屋大学、日本学術振興会
----	---------------

プラズマと医療の先端研究を学ぶ中高生向けのイベントを開催しました。堀勝先生らによるプラズマ医療の紹介と昼食時には大学院生による研究活動の紹介や午後にはデモもあり、研究を実感できる会となりました。

**植物の不思議を知ろう「食虫植物」**

日時	8/11(木)16:00～16:30
----	--------------------

対象	子ども～おとな
----	---------

会場	名古屋市東山動植物園
----	------------

主催	名古屋市東山動植物園
----	------------

植物園職員と一緒に、たくさんの種類の食虫植物を観察しました。葉を変形させて、昆虫をはさんだり、ツボに落としこんだり、また、ねばねばの粘液を出して昆虫をくっつけたりと、それぞれの違いを見て感じていただきました。

**ひがしやま植物実験室**

日時	8/13(土)14:00～14:30
----	--------------------

対象	子ども～おとな
----	---------

会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
----	------------------

主催	名古屋市東山動植物園
----	------------

食虫植物の捕虫袋を顕微鏡で観察し、植物の戦略（工夫）を楽しみながら学んでいただきました。



植物の不思議を知ろう「食虫植物」

日時	8/14 (日)16:00~16:30
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
主催	名古屋市東山動植物園

植物園職員と一緒に、たくさんの種類の食虫植物を観察しました。葉を変形させて、昆虫をはさんだり、ツボに落としこんだり、また、ねばねばの粘液を出して昆虫をくっつけたりと、それぞれの違いを見て感じていただきました。

**第2回知的財産経営サロン~知的財産の保護の必要性~**

日時	8/18(木)17:00~19:00
対象	中小企業の経営者など
会場	日本弁理士会東海支部
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部

知的財産を産業競争力の源泉と位置付け、経営戦略に組み込む「知財経営」の推進を図るため、中小企業の経営者等を対象とした「知的財産経営サロン」を日本弁理士会東海支部と共催で開催しました。

**ひがしやま植物実験室**

日時	8/20(土) 14:00~14:30
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
主催	名古屋市東山動植物園

植物園職員とインターンシップの学生さんと一緒に、動くことができない植物が、外敵から身を守るために工夫して生きている様子を、カタバミの葉で10円玉を磨いたりエゴノキの実でシャボンをつくって遊びながら感じていただきました。

**標本の名前を調べてみよう (平成28年度同定会)**

日時	8/21(日) 10:00~15:00
対象	子ども~おとな
会場	三重県総合博物館(MieMu)レクチャールーム
主催	三重県総合博物館(MieMu)

各分野の専門家と一緒に、集めた標本の名前の調べ方を学んでいただき、夏休みの自由研究等に役立てていただきました。



植物の不思議を知ろう「植物を支える根の働き」

日時	8/21(日)14:00～15:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
主催	名古屋市東山動植物園

植物園職員と一緒に、たくさんの種類の根を観察しました。根をぶら下げて空気中の水分を吸収しているもの、体をしっかり支える支柱根を出すものなどの違いを見て感じていただきました。

**・3 日間以上にわたって開催されたイベント****サイエンスワールド夏休み特別イベント「科学忍者への道」**

日時	7/16(土)～8/31(水)9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)
主催	サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)

科学の力で忍法に挑戦！現代の科学を利用して忍者修行をするというコンセプトで夏休み期間中のイベントを開催しました。多くの親子に参加いただきました。

**クイズラリー「植物の不思議を知ろう！」**

日時	7/16(土)～8/31(水) 10:30～15:30
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
主催	名古屋市東山動植物園

クイズに答えながら植物園を巡ることで、植物について楽しく学んでいただきました。

**特別展「南極へ行こう！～南極観測 60 周年記念特別展～」**

日時	7/16(土)～9/4(日)9:30～17:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館
主催	名古屋市科学館、中日新聞社、CBC テレビ

中日新聞社・CBC と共催で、南極とはどのようなところか、南極観測隊は何を研究し、隊員はどのような生活をしているのかなど、映像や標本などで紹介。実際に使っていた雪上車も展示しました。



生命の海科学館 2016 年夏の企画展「鉱物～大地が育てたたからもの～」

日時	7/16(土)～9/4(日)9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

美しい鉱物結晶の数々に、沢山の方が見入っていました。また、特に雲母に触るコーナーが人気を博し、ペリペリと雲母がはがれることに強く関心を持った来場者の姿が目立ちました。



生きものかんさつタイム 2016 夏休みスペシャル

日時	7/20～9/2 の平日 *8/11～16を除く
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館 生命館 5階 生命ラボ
主催	名古屋市科学館

時間内の自由見学で、生きているゾウリムシとミドリムシをルーペや実体顕微鏡、生物顕微鏡で観察。サイズ、泳ぎ方などを実感しました。



ミニ水族館

日時	7/23(土)～8/7(日)9:00～16:30
対象	子ども～おとな
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

近隣の海や藻場などに生息する「きれい」「かわいい」「めずらしい」「きけん」な海のいきものを紹介しました。



自由研究応援プロジェクト

日時	7/23～8/28 の土日祝 10:00～15:00 随時受付
対象	親子(幼児～)
会場	愛知こどもの国 多目的ホール
主催	愛知こどもの国

ジャイロ発射装置や万華鏡やスライムなど 10 種類の自由研究の基になるセットを準備しました。セットを体験して仕組みや原理を考えさせ、まとめ方を簡単にアドバイスしました。自由研究の見通しが立ち、大変喜ばれました。



蒲郡市生命の海科学館 夏休みワークショップ

日時	8/1(月)～8/28(日)の毎日
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

8月中の毎日、いろいろなワークショップを開催しました。



植物を使った工作教室

日時	8/2(火)～8/7(日)10:30～15:30
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館
主催	名古屋市東山動植物園

植物材料を使った工作をご紹介した展示とあわせて、「植物の標本づくり」「空飛ぶタネの工作」「植物材料を使ってペンダントづくり」の工作教室を開催しました。たくさんの素敵な作品ができました。



中部大学蝶類研究資料館 2階展示室一般公開

日時	8/4(木)～8/31(水)10:00～16:00
対象	子ども～おとな
会場	中部大学名古屋キャンパス蝶類研究資料館
主催	中部大学

中部大学蝶類研究資料館の開館記念として、藤岡コレクションにおける日本産の蝶3種の標本をはじめ約60種の標本を展示し一般公開を行い、小学生から年配の方まで非常に多くの方にご来場いただきました。



4. あいちサイエンスフェスティバル 2016 イベント報告

4-1. 特集 1「未来を拓くモノづくり 2016」

ものづくり産業が盛んな愛知県の特徴を活かしたフェスティバルとするため、昨年はASFサイエンストークで「未来を拓くモノづくり」特集を組みました。今年も引き続き、規模を拡大して、未来のものづくりに関するイベントを、特集 1「未来を拓くモノづくり 2016」として、ラインナップしました。

あいちサイエンスフェスティバル 2016 オープニングイベント「ふくし×テクノロジーで未来はどうなる？」	
日時	9/24(土)14:00～17:00
対象	中学生以上を想定
講師	堀容子（一般社団法人ハッピーネット代表理事） 河上日出生（パナソニック（株）エコソリューションズ社） 水野正明（名古屋大学医学部附属病院教授） 柴田崇徳（産業技術総合研究所主任研究員） 岡田誠（富士通研究所／認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ）
会場	名古屋大学 ES 総合館 ES ホール
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
共催	一般社団法人ハッピーネット
<p>科学技術イノベーション政策が推進される中、介護・福祉現場へのICTやロボット導入も進んでいます。大学や企業でも、その潮流に乗った研究開発を加速させていますが、その方向性は、果たして介護・福祉現場の課題や日常感覚に合っているのでしょうか。こうした問題意識に立ち、研究開発者と介護・福祉関係者の考えをすり合わせ、ともに未来の社会について考えるシンポジウムを開催しました。</p> <p>堀容子氏は「テクノロジーは介護・看護の現場を変えるのか？」と題し、現状ではテクノロジー導入に対する現場職員の苦手意識や抵抗感があるが、省力化だけでなく介護職の社会的地位向上へつながる面もあり、トライ＆エラーで導入に向けて進むべきだと話しました。</p> <p>河上日出生氏は「パナソニックにおける介護ロボット開発・商品化取組事例の紹介」と題し、離床アシストベッドの開発過程を中心に、企業の取組みを紹介しました。</p>	
	 <p>名古屋大学の松尾清一総長による挨拶</p>
	 <p>「笑い筋体操」でウォーミングアップ</p>
	 <p>パロと登壇した堀容子氏</p>
	 <p>講演する河上氏</p>

水野正明氏は「IoT を基盤にした地域包括ケア」と題し、高齢者の健康寿命延伸のためのポイントや、「電子@電子帳」による医療支援システムなどを紹介しました。



講演する水野氏

柴田崇徳氏は「人の心を豊かにする神経学的セラピー用ロボット・パロ」と題し、「パロ」が導入されている海外の介護施設での様子などを映像で紹介し、その効果について話しました。



講演する柴田氏

その後、岡田誠氏をモデレータとして、登壇者全員によるディスカッションをおこないました。堀氏は、介護職の人々はテクノロジーの導入が自らの仕事を「奪う」と感じる傾向があるが、利用者が求めていることは何かという面から、テクノロジーを活用する意識を持つべきだと話しました。河上氏や柴田氏は、研究開発者は介護現場の人々との対話を通じてそのニーズを日々学んでいることや、テクノロジーの使い方を現場に丁寧に伝える人材育成の視点も重要であると話しました。水野氏は、地域においては医者も介護職も利用者も皆対等な立場であり、チームでよりよい地域福祉に向けて取り組む姿勢が重要であることを強調しました。



岡田氏をモデレータに討論

本イベントでは参加者同士の交流を深めるため、シンポジウムと並行して福祉関連企業等 10 団体がブース出展をおこないました。休憩時間やシンポジウム終了後の時間を利用して、参加者たちが気軽に意見交換を楽しみました。



ブース展示の様子

企画展「みんなで創る新しいミライ～さあ、水素の時代がやってくる！」

日時	10/8(土)～12/4(日)
対象	子ども～おとな
会場	トヨタ産業技術記念館
主催	トヨタ産業技術記念館

水素・燃料電池技術に関するトヨタグループ技術展を開催しました。燃料電池自動車の存在やしぐみに加え、今後やってくる「水素社会」に対する理解を深めるきっかけにさせていただくことができました。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2016「世界的な研究は出会いと偶然から～ナノカーボンの世界～」

日時	10/30(日) 13:30～15:00
対象	一般 (小3以上)
講師	篠原久典(名古屋大学大学院理学研究科教授)
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



ナノサイエンス・ナノテクノロジーというご自身の研究テーマ・内容をご講演いただくとともに、研究を進める上で出会った様々な共同研究者たちや不思議な体験を、エピソードとともにご紹介いただきました。

名古屋大学出前授業 in 豊橋 2016「医療分野における3Dプリンタ」

日時	11/13(日)13:30～15:00
対象	一般 (小3以上)
講師	森健策(名古屋大学情報基盤センター教授)
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



昨今注目を集めている3Dプリンタ。そんな3Dプリンタによって臓器モデルがどのように作成され、医療現場でどのように活躍されているのか、先端の研究とともにご紹介いただきました。

特集1「未来を拓くモノづくり2016」サイエンストーク 第1回「光を浴びると動く色素？」

日時	10/12(水)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
講師	関隆広(名古屋大学大学院工学研究科教授)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



光を照射すると色が変化したり動いたりする、フォトクロミック色素の研究開発について、その特性を利用した実物や動画を見せながら、わかりやすく解説されました。2016年ノーベル化学賞との関係や受賞者とのエピソードも紹介され、分子の世界の奥深さを楽しむことができました。

特集 1「未来を拓くモノづくり 2016」サイエンストーク 第 2 回「ロボットになぜ「弱さ」が必要なの？」

日時	10/13(木)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
講師	岡田美智男(豊橋技術科学大学情報・知能工学系教授)
会場	ジュンク堂書店名古屋ロフト店
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

人と人との関わりや学びを促す、頼りなくて他力本願な「弱い」ロボットを開発する意味について、生態心理学／認知科学の視点からお話しいただきました。人にすり寄りながらゴミを拾ってもらうゴミ箱ロボットなどの事例を通じて、人のコミュニケーションや支えあいの在り方を、改めて考え直す機会となりました。



特集 1「未来を拓くモノづくり 2016」サイエンストーク 第 3 回「微細藻類をバイオ燃料にするには」

日時	10/19(水)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
講師	神田英輝(名古屋大学大学院工学研究科助教)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

微細藻類のバイオ燃料化工程において、現状では、乾燥や溶媒蒸発のために生産量を上回るエネルギーを消費しています。その問題を克服する、液化 DME を用いた効率の良いオイル抽出法が紹介されました。トーク終了後には参加者から熱心な質問があり、藻類バイオ燃料への関心の高さが感じられました。



4-2. 特集 2「やっぱり大好き！宇宙の謎を探る！」

おとも宇宙が大好きですね。ノーベル物理学賞受賞者、梶田先生の講演会をはじめ、秋も宇宙の謎に迫りました。

特別講演会「梶田隆章先生講演会 & 宇宙論を楽しもう Day」

日時	10/8(土)10:00～15:00
対象	中学生以上を想定
講師	梶田隆章（東京大学宇宙線研究所所長） 伊藤好孝（名古屋大学宇宙地球環境研究所教授） 市來淨與（名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構講師） 佐藤修（名古屋大学未来材料・システム研究所助教）
会場	名古屋大学豊田講堂
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

午前の第1部ではノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章氏に名古屋大学に来ていただき、ニュートリノの研究や重力波を中心とした今後の宇宙研究について講演していただきました。講演のあとは名古屋大学の研究者も加わり様々な宇宙の謎についての参加者からの質問に答えました。

昼休憩時間には、梶田氏を交えて高校生との交流会を開催しました。高校生たちは、研究者を目指すために必要なことや研究生活などを梶田氏に質問するなど、講師らとの会話を楽しんでいました。参加した名古屋大学の研究者からも高校生たちに助言があり、宇宙研究を目指す高校生にとって研究現場に近づく良い機会になりました。

午後の第2部では名古屋大学の研究者による講演と、ブースによる研究紹介を行いました。講演には質問コーナーに参加した市來氏と佐藤氏、および宇宙地球環境研究所の伊藤氏が登壇しました。ブースでは講演内容のブースの他、真空実験、ChubuSat2、宇宙教育グループの出展もあり大勢の参加者たちで賑わいました。



講演する梶田氏



参加者からの質問に答える梶田氏(右)と、サポートする名古屋大学研究者たち



交流する梶田氏と高校生たち



第2部の講演の様子

プラネタリウム×アートピア特別投影「宇宙の音、星の音 in Brother Earth」

日時	10/14(金)、15(土)18:30~20:00
対象	高校生以上
会場	名古屋市科学館プラネタリウム
主催	名古屋市科学館、名古屋市文化振興事業団

(公財)名古屋市文化振興事業団〔青少年文化センター〔アートピア〕〕と共催したプラネタリウムの特別投影。世界一大きなドームスクリーンに投影される満天の星の下、学芸員の生解説と音楽を楽しみました。



「あいち航空・宇宙 ものづくりの歴史と未来～子どもたちと夢見る、10年後の航空宇宙～」

日時	10/22(土) 13:30~
対象	子ども～おとな
講師	大海浩(中部航空宇宙産業技術センター) 岩川輝(名古屋大学大学院工学研究科助教)
会場	西尾市文化会館小ホール
主催	西尾市、西尾市教育委員会、西尾市文化事業実行委員会

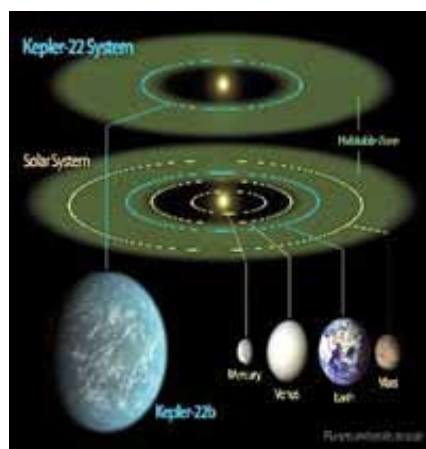
愛知県の産業といえば自動車？それだけではありません。2015年に話題になったMRJだけではなく、航空宇宙産業そのものが盛んな愛知県。二人の専門家から、愛知の航空宇宙産業の歴史と未来の展望を、お話しいただきました。



博士が教える科学教室「地球外生命体を探して～国立天文台の挑戦～」

日時	11/3(木・祝)15:00~18:00
対象	子ども～おとな
講師	縣秀彦(国立天文台准教授)
会場	大垣市スイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団

地球において、生命体が存在した起源はいつなのだろうか？どこからやってきたのだろうか？等様々な探究や理論をもとに科学的に解説しました。地球に似た環境・地球と同条件の星を探りながら、ハビタブルゾーンの存在にも興味深く話されました。年齢層が幅広い参加者にもかかわらず、とても分かり易かったです。今回は特に小学生や中学生の参加が多かったです。



特集 2「やっぱり大好き！宇宙の謎を探る！」サイエンストーク 第1回「素粒子で探る宇宙の謎」

日時	9/26(月)18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
講師	飯嶋徹(名古屋大学大学院理学研究科教授)
会場	Cafe&Bar Perms (パームス)
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

日本からノーベル物理学賞受賞者を多数輩出している素粒子物理学の研究について、標準理論や小林・益川理論などを解説し、もうすぐ始まる「SuperKEKB/Belle II 実験」についても紹介しました。ASF サイエンストークの初回でしたが、多くの方に参加いただき、大変盛況でした。



特集 2「やっぱり大好き！宇宙の謎を探る！」サイエンストーク 第2回「オーロラから宇宙をさぐる」

日時	10/5(水)18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
講師	塩川和夫(名古屋大学宇宙地球環境研究所教授)
会場	7th Cafe
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

台風接近のため中止となりました。12/19(月) 18:30~20:00、同会場にて「第69回名大カフェ」として代替開催しました。



4-3. 名古屋大学 presents、注目企画

今年はショッピングモールと水族館という初めての会場で、名古屋大学企画イベントを開催できました。

あいちサイエンスフェスティバル 2016 プレイVENT in イオンモール大高「集まれ！未来の科学者たち！」

日時	9/19(月・祝)10:00～17:00
対象	親子連れ～一般
会場	イオンモール大高 グリーンコート
主催	愛知県、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

愛知県産業労働部の仲介により、あいちサイエンスフェスティバル 2016 のプレイVENTを、イオンモール大高で開催しました。ショッピングモールでのイベント開催は、初めての試みでした。



大勢の家族づれでにぎわう会場

サイエンスワールド(岐阜県先端技術体験センター)は音の鳴る「わんコップ」工作を、名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所と JST-ERATO 伊丹分子ナノカーボンプロジェクトはカラーペンの色のサイエンスとペーパークロマトグラフィーの原理を工夫したオリジナルアート体験を提供しました。会場の周りにはあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク機関のイベント紹介パネルも設置し、多くの方にあいちサイエンスフェスティバルを知っていただく機会となりました。



ペーパークロマトアートにUVライトを当てると、カラーペンに含まれていた蛍光色素が光る

水族館で楽しめる 名大発の新しいゲーム「イクチオバトル」

日時	10/9(日)10:00～14:20
対象	子ども～おとな
会場	碧南海浜水族館
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
共催	碧南海浜水族館

名大発の教育的ゲーム「イクチオバトル」を、碧南海浜水族館にて開催しました。5名のプレゼンターはオリエンテーションを受けた後、水族館を自由に巡り、それぞれに魅力な魚をスケッチしてバトルに臨みました。バトルでは、一人3分間のプレゼンテーションを実施、投票者により一番見たくなった魚が選ばれました。魚に関する発見を自ら人に伝えることで、魚への更なる興味・関心を引き出し、また新たな気づきを提供することができました。



名大・氏原温准教授によるレクチャー



イクチオバトル優勝者は小学生男子

4-4. ASF サイエンストーク

* 特集 1「未来を拓くモノづくり 2016」サイエンストークは、p.35～p.36、特集 2「やっぱり大好き！宇宙の謎を探る！」サイエンストークは、p.39 に掲載しています。

4-4-1. サイエンスを語らうタベ

「最先端の研究について聞くのはちょっと難しい。もう少し気軽にサイエンスの話題に触れたい」という声に応え、今年、サイエンスに関連した身近な話題を楽しむサイエンストークを企画しました。

サイエンスを語らうタベ 第1回「高校サイエンスに魅力を与える校外連携の展開」

日時	9/28(水)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	井上徳之(中部大学超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

科学を学び研究する面白さを伝えるために、学校と科学館や研究者らがいかに連携できるかについて、参加者らとともに考えました。参加した高校教員からは、高校は大学進学率で評価されるため、実物に触れる施設見学等を実施しにくいという、理想と現実のギャップに悩む声が挙がりました。学校教員からアクションを起こすことは難しくても、大学や科学館から学校にアプローチすることで連携しやすくなるのかもしれないと感じました。



サイエンスを語らうタベ 第2回「「科学者」はいつからいたのか？：17-19世紀の学者たちとその歴史」

日時	10/3(月)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	隠岐さや香(名古屋大学大学院経済学研究科教授)
会場	ジュンク堂書店名古屋ロフト店
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

現在は尊敬の対象となる科学者ですが、scientistという言葉は、近代初期においてはどちらかというと侮蔑語だったとのこと。主にパリ王立アカデミーを事例にして、科学の価値が自明でなかった時代に、科学者たちが科学の有用性を提言し、社会改善事業に協力するなどして国家との関係性を築きながら自らの地位を確立していった過程を、絵画や史料を用いて、興味深くお話いただきました。



サイエンスを語らうタベ 第3回「いま求められる、サイエンスコミュニケーション」

日時	10/18(火)18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	小出重幸(日本科学技術ジャーナリスト会議会長) 落合洋文(名古屋文理大学教授)
会場	Cafe&Bar Perms (パームス)
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

小出氏は、イギリスの「科学顧問」を例に、科学に関連する社会的問題が生じたときには科学者代表がメディアを通じて科学的正しさを伝える必要があると、話題提供しました。それを受け落合氏は、科学者にも「わかりやすい説明」が求められる昨今の風潮を指摘し、小出氏も「エンターテインメント」的な伝え方が科学「報道」に入り込んでいる問題を指摘しました。科学コミュニケーションをめぐる科学者・メディア・市民の意識の違いや日本の制度的課題について広く討論し、終了後も多くの参加者が会場に残って、ゲストとのアフタートークを楽しみました。



小出氏



落合氏

サイエンスを語らうタベ 第4回「これだけやめられない？ フィールドワーカー冒険譚！」

日時	10/26(水)18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	山迫淳介(日本学術振興会特別研究員 PD/東京大学) 宮川尚子(蒲郡市生命の海科学館学芸員)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

「お酒のつまみになるサイエンストーク」をコンセプトに、若手研究者2人がフィールドワークの醍醐味を語りました。「かみきり虫」研究者の山迫氏はラオスのベースキャンプでのタフな生活や食事などについて、「鯨」研究者の宮川氏は捕鯨調査船での生活や鯨解体の実際について、ユーモアを交えて話しました。どちらも日本の日常生活からは知りえない、ワクワクするようなお話でした。それぞれの調査対象や経験について熱く語る姿もとても印象的で、若い2人を応援したい気持ちになりました。



山迫氏



宮川氏

4-4-2. 魚ギョ！ 栄の真ん中で「魚貝」を考える

今年は魚介類にまつわるテーマのサイエンストークが集まりました。どれも、栄のど真ん中、SMBC パーク 栄での開催となりました。

魚ギョ！ 栄の真ん中で「魚貝」を考える 第1回「二枚貝についての学習教室「貝体新書」

日時	9/29(木)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	大野照文(三重県総合博物館(MieMu)館長)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

「ハマグリ貝の貝柱はいくつあるか」という単純な問いに対して、貝殻の観察やグループ討論を通じて答えを出すワークショップを開催しました。参加者たちは互いに意見を出し合いながら答えを導き出しましたが、観察によって見えているはずのことを思い込みが邪魔してしまう人間の感覚も、体験を通して再認識しました。最後にはゲスト特製のハマグリ模型も登場し、終始笑いの絶えないサイエンストークとなりました。



特製ハマグリ模型

**魚ギョ！ 栄の真ん中で「魚貝」を考える 第2回
「【バイオカフェ in なごや】魚のバイオテクノロジー－新しいブランド魚の開発を目指して－」**

日時	10/7(金)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	正岡哲治(水産研究・教育機構 増養殖研究所主任研究員)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

バイオテクノロジーを用いたブランド魚開発について、ゲノムを3個持つ「3倍体」の例などが紹介されました。3倍体の魚は妊娠しないため生殖にエネルギーをとられず、おいしい魚になるとのことです。現在では天然ものよりも養殖魚の方がおいしいなど身近な話題も多く、参加者から多くの質問が飛び交いました。



**魚ギョ！ 栄の真ん中で「魚貝」を考える 第3回
「魚類の右利きと左利きの解明～アフリカ野外調査から神経科学実験まで～」**

日時	10/25(火)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	竹内勇一(富山大学大学院医学薬学研究部助教)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

鱗食魚の「利き」の発達研究について、現地調査と研究室実験のプロセスを、画像や動画を使いながら解説しました。この研究が進めばヒトの「利き」の謎の解明にもつながるとあって、参加者らは興味津々に聞き入り、今後の進展を期待していました。



4-4-3. 図書館サイエンス夜話～シリーズ“石”～

今年の図書館サイエンス夜話は、「石」をテーマに、磁石、隕石、石垣などのトークを楽しみました。

図書館サイエンス夜話～シリーズ“石”～ 第1夜「磁石と超伝導と宇宙を結ぶ物理」

日時	10/14(金)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	佐藤憲昭(名古屋大学大学院理学研究科教授)
会場	名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



小さなスケールの超伝導の話と大きなスケールの宇宙の話がつながる物理の世界のお話に皆さん聞き入っていました。また、めったに見ることのできない物理現象の実験の動画もネットなどで見るとできると知り、たいへん驚きを感じました。

図書館サイエンス夜話～シリーズ“石”～ 第2夜「放射線炭素で石のどのような年代がわかるか」

日時	10/20(木)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	南雅代(名古屋大学宇宙環境研究所准教授)
会場	名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



年代測定の手法の一つであるC14年代測定についてのお話をいただきました。C14の年代測定の仕組みや、隕石など様々な物質の年代測定に使われることを知り、年代測定の可能性について知る機会となりました。

図書館サイエンス夜話～シリーズ“石”～ 第3夜「お城と街角の石から読み取る地球と人の物語」

日時	10/27(木)18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	西本昌司(名古屋市科学館主任学芸員)
会場	名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



石垣や建造物に使われている岩石からその建造物の歴史や構造がわかるという話をいただきました。また、身近なビルなどにも岩石や化石があるという話も聞き、街を探検したくなるような内容でした。

4-5. 子どものためのサイエンスとものづくり 大イベント

今年も、子どもたちのための大規模イベントが開催されました。

青少年のための科学の祭典 2016 名古屋大会

日時	10/1(土)、2(日)9:30~17:00
対象	子ども
会場	名古屋市科学館、でんきの科学館
主催	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会、中部科学技術センター、日本科学技術振興財団・科学技術館、名古屋市科学館、中日新聞社

(公財)中部科学技術センター等と共催で、科学館とでんきの科学館を会場に、さまざまな実験や工作、体験やサイエンスステージでのパフォーマンスを楽しみました。



Jr.サイエンス講座 (子どものための科学展)

日時	10/15(土)10:00~16:00、10/16(日)10:00~15:00
対象	子ども
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋技術科学大学 (「子どものための科学展」主催：豊橋市教育委員会)

豊橋市教育委員会主催の「こどものための科学展」に、小中学生の科学技術に対する関心を高めることを目的として本学「Jr.サイエンス講座」を実施。ロボット操作体験、光の実験、電子和算博物館の3ブースを出展。



「科学・ものづくりフェスタ@愛教大」

日時	11/12(土)10:00~16:00
対象	子ども~おとな
会場	愛知教育大学 第一共通棟
主催	愛知教育大学 科学・ものづくり教育推進センター

液体窒素による超低温体験や静電気などによる不思議体験、マグネットづくりや廃材を利用したアート作品づくり、大きなシャボン玉に入ったり、ホバークラフトに乗ったり、親子で楽しそうな体験をしました。



4-6. まだまだいっぱい

まだまだいっぱい紹介します。

4-6-1. 会期が3日間以下のイベント

休日パテントセミナー2016in 豊田「特許を活用しよう！～特許権を取得する目的とその活用方法～」

日時	9/3(土)13:30～16:00
対象	知的財産に関心のある方
会場	豊田商工会議所
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部、豊田市、豊田商工会議所、とよたイノベーションセンター



知的財産に対する理解の増進と人材育成を目的に、弁理士による実例を交えた初心者向け知的財産セミナーを、日本弁理士会東海支部、豊田市、豊田商工会議所及び豊田イノベーションセンターと共催で開催しました。

自然史トーク「スペインの恐竜化石」

日時	9/4(日)14:00～15:00
対象	小学3年生以上
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



スペインで出会った様々な恐竜化石を紹介しました。

学芸員ミュージアム・トーク「竜脚類の化石」

日時	9/10(土)14:30～15:00
対象	子ども～おとな
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



特別企画展「メガ恐竜展 in 豊橋」の展示を見ながら竜脚類の進化を解説しました。

学習教室「ホネホネ探検隊－縄文時代の動物を調べよう－」

日時	9/11(日)9:30～15:00
対象	子ども～おとな
会場	田原市 吉胡貝塚資料館
主催	豊橋市自然史博物館

貝塚の土から骨を拾い出し、縄文時代の動物や縄文人の食生活の調べ方を実践しました。



薬用植物園市民公開

日時	9/16(金)・17(土)10:00~12:00
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市立大学 田辺通キャンパス薬用植物園他
主催	名古屋市立大学薬学部

薬草に関する講演後、教員・学生による解説とともに、時折質問を交えながら実際に植物園の中を見学していただきました。



休日パテントセミナー2016in 豊田「知的財産契約の基礎知識~秘密保持、共同研究、共同出願、ライセンス~」

日時	9/17(土)13:30~16:00
対象	知的財産に関心のある方
会場	豊田商工会議所
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部、豊田市、豊田商工会議所、とよたイノベーションセンター

知的財産に対する理解の増進と人材育成を目的に、弁理士による実例を交えた初心者向け知的財産セミナーを、日本弁理士会東海支部、豊田市、豊田商工会議所及び豊田イノベーションセンターと共催で開催しました。



南極の氷を観察！太古の空気を見てみよう・聞いてみよう

日時	9/17(土)14:00~15:00
対象	小学4年生以上
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

太古の空気が閉じ込められている、南極の氷を観察しました。参加者は顕微鏡で氷をのぞいて観察したり、水の中で氷が融けるときにたてる音の正体を探ったり、南極の氷からわかる古代の環境のお話を楽しみました。



あいちサイエンスフェスティバル in 蒲郡オープニング講演会「生物進化の起源にせまる！~カンブリア爆発研究最前線~」

日時	9/18(日)14:00~15:30
対象	中学生以上
講師	佐藤友彦(東京工業大学地球生命研究所 ELSI 研究員)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

新進気鋭の若手研究者による最先端のカンブリア紀研究のご講演でした。小学生くらいの方から専門知識のある方まで、熱心に聞き入っていました。来場者から鋭い質問も飛びだし、内容の濃い講演会となりました。



生物を観察して、電子ブックを作ろう！～大アサリ～

日時	9/19(月・祝)①10:30～12:00、②14:00～15:30
対象	小学3年生以上
会場	蒲郡市生命の海科学館
講師	倉田智子(基礎生物学研究所特任助教)ほか
主催	蒲郡市生命の海科学館



タブレットを使って大アサリの観察をしよう！身近だけどよく知らない貝の体について、大アサリを観察して学びました。最後にタブレットで撮影した写真や映像を使って自分だけのオリジナル電子ブックを作りました。

第3回知的財産経営サロン「社員の発明は誰のもの？」

日時	9/21(水)17:00～19:00
対象	中小企業の経営者など
会場	名古屋商工会議所8階
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部



知的財産を産業競争力の源泉と位置付け、経営戦略に組み込む「知財経営」の推進を図るため、中小企業の経営者等を対象とした「知的財産経営サロン」を日本弁理士会東海支部と共催で開催しました。

文学座俳優による星空朗読会～青い鳥～

日時	9/22(木・祝)14:00～15:00
対象	一般
会場	大垣市スイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団



第4回目となる「文学座俳優による星空朗読会」。プラネタリウムの星空の下、ベルギー作品「青い鳥」の一人語りライブを行いました。アンケートからは、プロの朗読の表現力に引き込まれ、感動したという意見が多数ありました。

スペースファンタジーライブ～星といのちをつなぐ物語～

日時	9/22(木・祝)①11:15～12:00、②14:15～15:00
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館 ミュージアムシアター
講師	高橋真理子(星空工房アルリシャ)
主催	蒲郡市生命の海科学館



シアターの中で映像を見ながら、壮大な宇宙のお話に耳を傾け、大人も小さな子も宙先案内人・高橋さんの世界に引き込まれました。「あっ、木星！」「土星！」という元気な声が、会場のあちこちから聞こえました。

小・中学生を対象としたロボット工作教室「レスキューロボットをつくろう！」

日時	9/24(土)9:45～16:00
対象	小・中学生
講師	奥川雅之（愛知工業大学准教授）
会場	名古屋市港防災センター
主催	名古屋市港防災センター

レスキューロボットの仕組みや役割の理解を深めることを目的として、愛知工業大学の奥川准教授と学生さんの指導の下、「レスキュークローラー工作セット（株式会社タミヤ）」を教材として、ロボット製作を行いました。



かがくあそび⑥スライムで遊ぼう

日時	9/24(土)・25(日)13:30～
対象	親子
会場	愛知こどもの国 中央管理棟「多目的ホール」
主催	愛知こどもの国

合成洗濯のり（PVA）、ホウ砂、水で混ぜて作るスライム体験をしました。水は赤・黄・緑の3色用意し、各色のスライムを作り、独特な感触を楽しみました。作ったスライムは持ち帰り、家庭でも楽しむことができ好評でした。



秋分の日♪非常食おやつパーティー

日時	9/25(日)①9:30～12:00、②13:30～16:00
対象	小学4年生以上
会場	名古屋市港防災センター
主催	名古屋市港防災センター

防災教育アドバイザーの近藤ひろ子先生をお招きして、炊飯袋（ハイゼックス）を使った簡単なおやつを作成した。また、災害時に活用できる紙食器作りや、保存用非常食の試食も行いました。



ジオツアー「奥三河で太古の海と湖をめぐる」

日時	9/25(日)8:45～16:30
対象	小学4年生以上
会場	設楽町、他
主催	豊橋市自然史博物館

設楽町を中心に新生代の地層などを巡りました。



秋の親子どうぶつ講座「アメリカ大陸なるほどツアー」

日時	10/1(土)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



基礎生物学研究所 一般公開 2016「生き物の不思議」

日時	10/8(土)9:30～17:00
対象	子ども～おとな
会場	基礎生物学研究所山手地区・岡崎コンファレンスセンター
主催	基礎生物学研究所

基礎生物学研究所の一般公開を開催しました。基礎生物学研究所に所属されていた、大隅良典先生のノーベル生理・医学賞受賞発表後ということもあり、大変多くの方が来所されました。



地震の教室「親子向け」 地震計を作って、ゆれをはかってみよう！

日時	10/8(土)10:00～12:00
対象	親子
会場	名古屋市科学館 第1実験室
主催	日本地震学会、名古屋市科学館

(公社)日本地震学会と共催。簡単な材料で地震計を手作りし、地面や建物の揺れを測理ました。また、パソコンにつなぎ、測定した揺れを目で見ることができました。



ノーベル賞受賞者 梶田隆章氏講演会（中継・サテライトイベント）

日時	10/8(土)10:00～12:00
対象	中学生以上
講師	中電大（名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構）
会場	蒲郡市生命の海科学館 サイエンスショールーム
主催	蒲郡市生命の海科学館

名古屋大学で開催される「梶田隆章氏講演会」を中継しました。また、中電大さんをサテライト講師にお迎えし、ニュートリノや暗黒物質など、現在進行中の素粒子実験物理学の最先端の研究について、ご紹介していただきました。



秋の親子どうぶつ講座「里山に住む日本の動物を学ぼう！」

日時	10/8(水)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



アサギマダラのマーキング調査

日時	10/9(日)9:30～11:30
対象	一般
会場	名古屋市東山動植物園 合掌造りの家前集合
主催	名古屋市東山動植物園

渡りの蝶「アサギマダラ」のマーキング調査をしてその生態を調べていただきました。



秋の親子どうぶつ講座「動物園の獣医さん」

日時	10/9(日)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



JAXA コズミック・カレッジ ファンダメンタル・コース

日時	10/10(月・祝)①10:30～12:00、②14:00～15:30
対象	小学3年～中学生
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

宇宙に探査機を送り込むためにどんな工夫がされているのか。皆で考えるために、「鶏卵を2階から落としても割れないようにする装置」を、A3用紙1枚で作りました。創意工夫が必要な工作に皆真剣に取り組みました。



動物講演会「雪山の王者、ユキヒヨウの謎に迫るー動物園から野生までー」

日時	10/10(月・祝)13:15～15:00
対象	子ども～大人
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

日本のユキヒヨウ研究の第一人者である木下こづえ先生を講師にお迎えし、野生のユキヒヨウの現状や飼育下にいる個体の特徴などをご説明いただきました。参加者からは多くの質問があり、講義への関心の高さに驚くほどでした。



秋の親子どうぶつ講座「カバ博士になろう」

日時	10/15(土)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



収蔵庫たんけん「骨格標本」

日時	10/15(土)13:30～14:00
対象	子ども～おとな
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

骨格標本を中心に自然史博物館の収蔵標本を見学しました。



巨大シャボン玉を作ろう

日時	10/15(土)・16(日)13:30～15:00
対象	親子
会場	愛知こどもの国 中央管理棟「多目的ホール」
主催	愛知こどもの国

シャボン液は台所洗剤・PVA・水で調製しました。綿ロープと針金を使って、大きなシャボン玉を作る枠を作りました。綿ロープがシャボン液を保持し、風に当てたり腕を振って大きなシャボン玉を飛ばして親子共々楽しみました。



第 114 回サイエンスカフェ in 名古屋「動物の不思議－特殊機能の進化－」

日時	10/21(金)18:00～20:00
対象	中学生以上～一般
講師	熊澤慶伯(名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科教授)
会場	ナディアパークデザインセンタービル7階 7th Cafe
主催	名古屋市立大学システム自然科学研究科



地球上には、私たちには到底及ばないような驚異的な機能を発揮する動物たちがたくさんいます。今回は、爬虫類（主にヘビ類とトカゲ類）が持つ、ヒトには真似できないような機能について紹介しました。

STAP 問題って結局何だったの？～科学技術の伝え方を考える～

日時	10/21(金)15:00～16:30
対象	一般
講師	藤吉隆雄(北海道大学大学院理学研究院特任准教授)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	三井住友銀行 SMBC パーク栄



STAP 問題とは何だったのでしょうか？ 本セミナーを通じて、一科学技術の伝え方を考えてみました。

ジオツアー「渥美半島の成り立ちを追う」

日時	10/22(土)9:00～16:00
対象	小学4年生以上
会場	田原市、豊橋市
主催	豊橋市自然史博物館



蔵王山や表浜の地層などから、渥美半島の地質の変遷をたどりました。

秋の親子どうぶつ講座「カメ・カエル博士」

日時	10/22(土)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園



動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。

かがくゼミナール「くすりのなかみを見てみようー薬との上手なつきあい方パート 12」

日時	10/23(日)10:00~12:00
対象	小学3年~中学生と保護者
会場	名古屋市科学館 第1実験室
主催	名古屋市科学館

長谷川摂子さん(名古屋市薬剤師会)をメイン講師に、実際のくすりを使った実験で、からだの中でのくすりの変化や、くすりの飲み方の工夫などを学びました。



動物園長さんといっしょに歩こう

日時	10/23(日)10:30~
対象	子ども~大人
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園内を動物園長と散歩しながら目の前の動物について解説してもらえるので、いつもと違う動物の魅力に気づけたとお声を多くいただきました。コースは当日までわからないのでそれも魅力との声も多いです。



サイエンスアゴラなごや 2016「熊本地震を見た名古屋の眼」

日時	10/23(日)13:00~14:30
対象	一般
講師	関口威人(ジャーナリスト)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	KagaQ

フリージャーナリストの関口威人氏をお迎えし、熊本地震の様子、今後この地域に起こりうる震災の規模や様子、備えについて伺いました。聞き手は北大特任准教授の藤吉隆雄先生、司会はKagaQの青木誠が務めました。



秋の親子どうぶつ講座「動物園の獣医さん」

日時	10/23(日)14:00~
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



学習教室「スズメバチの巣を解体してみよう」

日時	10/23(日)13:30～15:30
対象	小学1年生以上
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

駆除したスズメバチの巣を解体して巣の構造を調べました。またスズメバチを使って昆虫の体の仕組みを学びました。



秋の親子どうぶつ講座「比べてみよう！アシカとアザラシ」

日時	10/29(土)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



秋の植物クイズラリー

日時	10/29(土)・30(日)10:00～15:00
対象	一般
会場	名古屋市東山動植物園 星が丘広場・洋風庭園集合
主催	名古屋市東山動植物園

園内の秋を感じる樹木についてクイズラリー形式で巡っていただきました。



えほん meets 博物館「せいめいのれきし（改訂版）Jin 生命の海科学館

日時	10/30(日)①11:00～11:45、②14:00～15:30
対象	①未就学児の保護者/教育関係者、②小学生以上の子どもと保護者
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

国立科学博物館職員および山中館長による絵本紹介の後、ミッションシートを持って絵本に出てきた展示標本のところへ行き、標本観察をしました。親子で語らいながら絵本と科学館のつながりを感じていただきました。



バイオカフェ「新しいおコメをもとめて～従来の育種からゲノム編集まで～」

日時	10/30(日)13:30～15:30
対象	中学生以上
会場	名古屋市科学館 学習室
主催	名古屋市科学館、くらしとバイオプラザ 21



(特非)くらしとバイオプラザ 21 と共催。小松晃上級研究員 ((国研)農業・食品産業技術総合研究機構) がコメを切り口として従来の交配技術からゲノム編集技術までの育種技術をわかりやすく説明しました。

サンデーサイエンス講座「トリケラトプスの歩き方をどこまで復元できるか」

日時	10/30(日)14:00～16:00
対象	中学生以上
講師	藤原慎一(名古屋大学博物館助教)
会場	安城市中央図書館
主催	安城市中央図書館



絶滅した恐竜の歩き方や姿勢をホネの形から推理する学問の最前線を、模型や映像を駆使して分かりやすく説明していただきました。ときどきジョークを交えながらの講義で、和やかな雰囲気での講座となりました。

第 25 回東海地区高等学校化学研究発表交流会

日時	11/3(木・祝)10:00～16:30
対象	高校生の化学研究に関心のある方
会場	名古屋市科学館 サイエンスホール
主催	日本化学会東海支部科学教育協議会、名古屋市科学館



日本化学会東海支部科学教育協議会と共催で、愛知、岐阜、静岡、長野県の高校生の化学研究 11 題の発表会を開催しました。活発な質疑討論や研究者によるコメントもありました。

ポタニカルトーク ～植物管理人の温室トーク～

日時	11/3(木・祝)①10:30～11:00、②14:30～15:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園



温室植物について植物管理人が説明し、管理方法や植物管理人ならではの植物のヒミツ紹介も行いました。

おはなしどうぶつえん

日時	11/3(木・祝)14:15~14:45
対象	幼児~小学生
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

千種図書館と東山動植物園のコラボ企画。幼児~小学校低学年のお子様を対象としており、絵本の読み聞かせと飼育担当者のアニマルクイズによって小さなお子様でも飽きないように工夫して取り組みました。



おはなししょくぶつえん

日時	11/5(土)13:30~14:30
対象	小さなお子様と保護者
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

千種図書館の司書さんの植物に関する絵本の読み聞かせを楽しみながら、絵本の内容に沿って、秋植え球根を素焼きポットに植え付けていただきました。



秋の親子どうぶつ講座「アジアゾウをもっと知ろう！」

日時	11/5(土)14:00~
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

はじめに座学を行い、アフリカゾウとアジアゾウの違いや特徴を学びました。その後、ゾウ舎に移動し、実際にアジアゾウを間近に見て観察し、関心と理解を深めていきました。想像よりも大きく、力強い姿にお客様は感心していました。



学芸員ミュージアム・トーク「日本列島の形成」

日時	11/5(土)14:30~15:00
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

展示室を見学しながら日本列島の成り立ちを解説しました。



ポタニカルトーク～植物管理人の温室トーク～

日時	11/5(土)・6(日)①10:30～11:00、②14:30～15:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

温室植物について植物管理人が説明し、管理方法や植物管理人ならではの植物のヒミツ紹介も行いました。



動物園長さんといっしょに歩こう

日時	11/6(日)10:30～
対象	子ども～大人
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園内を動物園長と散歩しながら目の前の動物について解説してもらえるのでいつもと違う動物の魅力に気づけたとお声を多くいただきました。コースは当日までわからないのでそれも魅力との声も多いです。



自然史トーク「深海の化石たち」

日時	11/6(日)14:00～15:00
対象	小学3年生以上
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

新生代展示室などを見学しながら、深海の生き物たちの化石を紹介しました。



大人のための植物講座 種子のぼうけん

日時	11/12(土)10:30～12:00
対象	一般
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館
主催	名古屋市東山動植物園

植物の魅力伝えるための講座。大人を対象に種子散布についてお話ししました。



秋の親子どうぶつ講座「絶滅危惧動物レクチャーツアー」

日時	11/12(土)14:00～
対象	中学生以上の親子または友人同士
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

動物園をフィールドとした生物多様性や自然との共生について楽しく学ぶ講座を開催しました。



サンデーサイエンス講座「砂場遊びの宇宙」

日時	11/13(日)14:00～16:00
対象	中学生以上
講師	桂木洋光(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)
会場	安城市中央図書館
主催	安城市中央図書館

身の回りにある粒々、粉々の物質の不思議な性質の具体例をたくさん示し、それが宇宙レベルで起こっている現象を考える上で欠くことのできないものであるという内容でした。意外なことに研究はまだ進んでいないというのも驚きでした。



家族で行く化石採集

日時	11/20(日)8:45～16:30
対象	子ども～おとな
会場	岐阜県瑞浪市（集合：豊橋市自然史博物館）
主催	豊橋市自然史博物館

瑞浪市の化石産地で、1600 万年前の地層とそこに含まれるサメ・貝化石などを観察し、採集しました。



日本農芸化学学会サイエンスカフェ「生活の中の身近な化学 – 酵素の不思議な働き –」

日時	11/25(金)18:00～19:30
対象	高校生以上、一般
講師	間瀬民生(椋山女学園大学教授)
会場	名古屋市科学館 キーズカフェ
主催	日本農芸化学学会、名古屋市科学館

日本農芸化学会と共催。「酵素の不思議な働き」について、間瀬民生教授(椋山女学園大学 生活科学部 管理栄養学科)から、現代の加工食品に欠かせない酵素について紹介していただきました。



ジオツアー「三河地震の爪痕をたどる」

日時	11/26(土)9:00～16:00
対象	小学4年生以上
会場	蒲郡市ほか（集合：豊橋市自然史博物館）
主催	豊橋市自然史博物館

三河地震の爪痕をたどりながら、西浦半島の成り立ちを読み解きました。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2016「隕石衝突は地球に何をもたらしたのか？」

日時	11/27(日)14:00～15:30
対象	小学3年生以上
講師	三村耕一(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

「破壊」と「創造」の2つの面を持った隕石衝突をテーマに、生命誕生への最初のステップについて紹介しました。



4-6-2. 会期が4日間以上のイベント

第7回 惑星地球フォトコンテスト 入賞作品展

日時	9/17(土)～11/6(日)9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

素晴らしい景色と、その景色を生み出した地学的背景を紹介する写真展。絶景の数々に、地学に興味がある方も、これまであまり関心がなかった方も、見入っていました。



アニマルトークリレー

日時	10/1(土)～11/13(日)13:30～15:30
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

仔キリンのジュラが翌月曜日に転出されるため、お別れ会も兼ねたトークだったためか、多くのお客様にお越しいただきました。キリンの紹介はもちろんだが、共生しているダチョウについても説明し、お客様は喜んでいました。(10/15 キリントーク)



第9期生ケアラーヘルスサポーター養成講座

日時	10/2、10/16、11/3、11/13、11/27、12/18
対象	一般
会場	名古屋大学大幸キャンパスほか
主催	一般社団法人ハッピーネット

今期の申込者は2名で、鍼灸師と看護師でした。欠席者もあり閉講した講義もありました。忙しいケアラーが取り組める「市販の総菜でできる降圧効果のある食事」は、介護士や看護師が再受講し活発な意見交換がされました。



第13回企画展「The NINJA～忍者ってナンジャ!？」

日時	10/25(火)～2017/1/9(祝) 9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	三重県総合博物館(MieMu)
主催	三重県総合博物館(MieMu)、朝日新聞社

三重大学を中心とする研究者等が取り組んだ研究成果をもとに、これまでとは異なる科学の視点から忍者の知恵を解き明かす体験型展示です。子どもから大人まで、楽しみながら学んでいただきました。



カガクのトビラ「ふしぎなかがみ～わたなべちなつ絵本展～」

日時	10/29(土)～11/27(日)9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	大垣市スイトピアセンター アートギャラリー
主催	大垣市文化事業団

開く角度によって、さまざまな模様が現れる不思議なかがみの絵本展を開催しました。会場には、体験できる作品も登場しました。



秋の工房アラカルト

日時	11/12(土)～12/4(日)の土日祝 9:00～17:00
対象	小学生以上
会場	サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)
主催	サイエンスワールド(岐阜県先端科学技術体験センター)

期間中の土・日・祝日に毎回1組の外部講師をお招きして開催される科学実験・工作イベントです。このイベントを目当てに来館される方も多数いらっしゃるほど好評でした。参加者だけでなく当館職員との情報共有もでき、充実したイベントとなりました。



4-7. あいちサイエンスフェスティバル 2016 クロージング企画

あいちサイエンスフェスティバル 2016 は、クロージングパーティーと、蒲郡でのクロージング講演会で締めくくりました。

あいちサイエンスフェスティバル 2016 クロージングパーティー“アフタートーク・テーブルズ”

日時	10/26(水)20:30～22:30
対象	一般
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	KagaQ

フェスティバル会場の一つ、ボクモにてクロージングパーティーを開催しました。先立って行われたASFサイエンストークの熱気を引き継いで参加者のトークが盛り上がり、ワインやお食事と共に皆でサイエンスの時間を楽しみました。



クロージング講演会 in 蒲郡「ヒトはなぜ絵を描くのか」

日時	11/3(木・祝)14:00～15:30
対象	中学生以上～一般
会場	蒲郡市生命の海科学館
講師	齋藤亜矢(京都大学野生動物研究センター特定助教)
主催	蒲郡市生命の海科学館

人間の子供の絵とチンパンジーの絵を比べたときの類似点、そして相違点は何か。ヒトをチンパンジーと比較することで、ヒトとは何かを探る研究のご紹介に、来場者は興味深く聞き入りました。



5. 謝辞

6年目のあいちサイエンスフェスティバルが終わりました。

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの各機関の日々の取り組みに敬意を表すとともに、フェスティバルにご協力いただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

昨年からはじめた夏休みあいちサイエンスフェスティバルは、この地域の子どもたちの夏休みの遊び・学びの機会として、定着し始めたのではないかと思います。秋のあいちサイエンスフェスティバルも、広報方法などを見直し、より認知を高め、多くの方にご参加いただけるよう取り組みたいと思います。

今後とも、皆様のご協力・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局一同

あいちサイエンスフェスティバル 2016 実施報告書

発行年月： 2017年1月
発行責任者： 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 首席リサーチ・アドミニストレーター
藤野誠一
編集： 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 主任リサーチ・アドミニストレーター
成玖美

お問い合わせ先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 NIC311
名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 地域連携・情報発信グループ
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局
e-mail asf@aip.nagoya-u.ac.jp
URL <https://aichi-science.jp> (あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークHP)
<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp> (名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部HP)
TEL 052-747-6527 FAX 052-747-6796

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関

 名古屋大学	 愛知県	 国立大学法人 豊橋技術科学大学	 名古屋市立大学
 名古屋市科学館 NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM	 東山動植物園 Higashiyama ZOO & BOTANIC GARDEN	 岡崎市 海の科学館	 豊橋市自然史博物館
 日本モンキーセンター	 トヨタ産業技術記念館	 AXA 名古屋空港飛行研究拠点	 基礎生物学研究所
 AUT 愛知工科大学	 BUNRI 名古屋文理大学 NAGOYA BUNRI UNIVERSITY	 三井住友銀行 SMBC パーク 栄	 愛知こどもの国
 名古屋大学創立75周年記念	 MieMu 三重県総合博物館	 agaki city cultural foundation 公益財団法人 大垣市文化事業団	 国立大学法人 名古屋工業大学
 中部大学	 公益財団法人 科学技術交流財団 Aichi Science & Technology Foundation	 国立大学法人 愛知教育大学	 名古屋市港防災センター
 愛知科学技術交流センター サイエンスワールド	 愛知学長懇話会		

(2017年1月現在)